

製品名: MRP2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86754**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000
分子量	Calculated MW:174 kDa; Observed MW:>200 kDa

抗原情報

遺伝子名	MRP2
別名	DJS; MRP2; cMRP; ABC30; CMOAT
遺伝子ID	1244
SwissProt ID	Q92887
免疫原	ヒトMRP2の合成ペプチド

背景

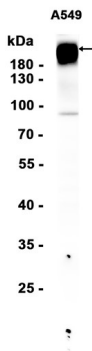
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ATP結合カセット（ABC）トランスポータースーパーファミリーのメンバーで

す。ABC タンパク質は、細胞外膜および細胞内膜を介して様々な分子を輸送します。ABC 遺伝子は7つの異なるサブファミリー (ABC1、MDR/TAP、MRP、ALD、OABP、GCN20、White) に分類されます。このタンパク質は、多剤耐性に関与する MRP サブファミリーのメンバーです。このタンパク質は肝細胞の毛細管 (頂端) 部で発現し、胆汁輸送に機能します。基質にはビンブラスチンなどの抗がん剤が含まれるため、このタンパク質は哺乳類細胞における薬剤耐性に寄与していると考えられます。この遺伝子には、抱合型高ビリルビン血症を特徴とする常染色体劣性疾患であるデュビン・ジョンソン症候群 (DJS) の患者において、いくつかの異なる変異が観察されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



MRP2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した A549 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。